

水俣市総合計画策定審議会名簿（50音順）

氏 名	所 属 等	条例における類型 (第3条第2項)
明石 照久 ◎	熊本県立大学総合管理学部教授	学識経験者
葦浦 博行	市総務企画部長	市長が適当と認める者
大川 末長	市議会議員	市議会議員
寒川 正典 ○	水俣市自治会長会会長	市長が適当と認める者
沢畑 亨	水俣市久木野ふるさとセンター愛林館館長	市長が適当と認める者
下田 国義	寄る会みなまた世話人代表	市長が適当と認める者
棚橋 康子	水俣市地域婦人会連絡協議会会長	市長が適当と認める者
中島 庸雄	公募委員	市長が適当と認める者
永野 ユミ	水俣病等相談窓口相談員	市長が適当と認める者
中原 泰子	市議会議員	市議会議員
中村 慶治	水俣市PTA連絡協議会会長	市長が適当と認める者
福田 興次	観光物産協会エコみなまた会長	市長が適当と認める者
森山亜矢子	公募委員	市長が適当と認める者
渡邊 亨	水俣青年会議所直前理事長	市長が適当と認める者

・表中氏名欄の◎は会長、○は副会長。

庁議メンバー名簿

職 名	氏 名
市長	宮本 勝彬
副市長	森 近
教育長	大淵 洋（坂本 彰：教育次長）
総務企画部長	葦浦 博行
福祉環境部長	吉本 哲裕
産業建設部長	田上 和俊
医療センター事務部長	桑畑 達美
議会事務局長	牛迫 秀基
水道局長	盛下 修一
総務課長	本山 祐二
財政課長	淵上 茂樹
企画課長	栄永 徳博
産業づくり総室長	上村 彰

・表中氏名欄の（ ）書きの者は、平成21年10月1日から職務代理者として出席。

水俣市総合計画策定委員会名簿

職 名	氏 名
総務課長	本山 祐二
企画課長	栄永 徳博（委員長）
財政課長	淵上 茂樹
環境モデル都市推進課長	川野 恵治
市民課長	伊藤 亮三
環境対策課長	久木田一也
健康高齢課長	和田 恭子
福祉課長	梅下 正孝
産業づくり総室長（商工観光振興室長）	上村 彰
農林水産振興室長	本山 浩二
土木課長	浦 清志
都市政策課長	遠山 俊寛
下水道課長	古里 雄三
教育総務課長	宮森 守男
生涯学習課長	松本 幹雄
水道局長	盛下 修一
医療センター総務課長	田畑 孝次

第5次水俣市総合計画策定プロジェクトチーム名簿

部 会	職 名	氏 名
政策Ⅰ 環境部会	水道局次長	坂本 数馬
	環境対策課主幹（環境企画室次長）	一期崎 充
	農林水産振興室主幹（元気村推進係長）	本田 聖治
	都市政策課都市計画係長	梅下 彰
	下水道課総務係参事	田畑 和彦
	環境対策課環境クリーンセンター参事	福田 一哉
	環境対策課衛生係主査	岡本 恵介
	環境モデル都市推進課環境モデル推進係主事	池崎 翔子
	企画課長補佐（元気づくり推進室長）	関 洋一
政策Ⅱ 経済部会	商工観光振興室主幹（企業誘致係長）	水田 利博
	農林水産振興室主幹（農業振興係長）	田中 真也
	商工観光振興室観光再生係長	柿本 英行
	商工観光振興室商業振興係長	鎌田みゆき
	企画課元気づくり推進室参事	山内 一也
政策Ⅲ 暮らし部会	福祉課障がい者支援係長	村崎 晶一
	市民課年金医療保険係参事	深水 初代
	土木課土木係参事	山村 良一
	企画課交通対策係参事	宮地 正和
	医療センター総務課総務係参事	緒方 智宏
	総務課防災危機管理室主査	山田 大悟
	健康高齢課介護支援室主事	丸山 夕子
政策Ⅳ 教育部会	企画課男女共生社会推進係参事	川野 優子
	福祉課子育て支援係参事	田原ひさみ
	教育総務課総務係参事	大川 尊
	生涯学習課文化振興係参事	赤司 和弘
	生涯学習課生涯学習係主査	淵上 佳代
	企画課元気づくり推進室次長	研川 英治
政策Ⅴ 行政システム部会	財政課財政係長	設楽 聡
	税務課市民税係主査	梅下 俊克
	総務課行政係主事	竹中 寛人
	企画課元気づくり推進室主査	大川 泰洋
		深内保し美

第5次水俣市総合計画策定に伴う市民意識調査の結果（概要）

近年の激しい社会変化に対応しながら、水俣市の地域特性を活かした総合的かつ計画的な行政運営を図る「第5次水俣市総合計画」を策定するための基礎資料を得るために実施しました。

今回のアンケート調査は、住民基本台帳に記載されている16歳以上の方（基準日：平成21年7月1日）の中から、1,000人を無作為に抽出し、郵送により調査票を配布し、郵送により回収する方法で行いました。

- (1) 抽出方法：層化無作為抽出方法
- (2) 標本数：1,000
- (3) 母集団：28,148
- (4) アンケート対象：水俣市在住の16歳以上男女1,000人
- (5) 調査項目
 - ①基本項目：性別、年齢、職業、居住地区、居住年数他
 - ②設問項目：消費動向、交通手段、市政に対する要望、行政サービスのあり方、市政への関心度・参加度他
- (6) 調査期間：平成21年7月13日（月）～7月27日（月）
- (7) 回収数（回収率）：427（回収率42.7%）
（※有効サンプル数426、無効サンプル数1）
- (8) 調査結果：概要を次頁以降に掲載

1 回答者の属性

問1～7

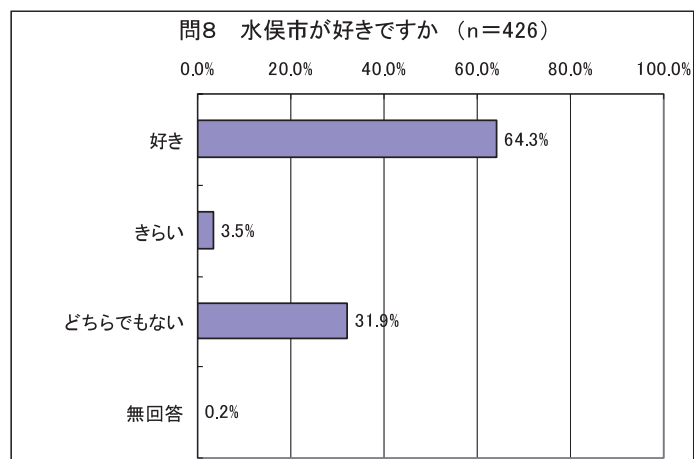
- 回答者426人のうち、男性が191人で全体の44.8%、女性が231人で54.2%となっています。
- 回答者を年代別に見ると、最多が60歳代で91人（21.4%）でした。次いで70歳代が80人（18.8%）、50歳代が69人（16.2%）となっており、40歳代、30歳代と続きます。
- 回答者の職業については、最多が無職で134人（31.5%）でした。次いで会社員等が68人（16.0%）、主婦（夫）などの家事従事者が60人（14.2%）となっています。
- 回答者の居住地区別では、一小・二小・水東小校区（いわゆるまち部）が426人中311人（73.2%）、これに袋小校区の54人（12.7%）が続きます。
- 回答者の家族構成については、親と子ども（2世代）が最多で、173人（40.6%）となっており、夫婦：128人（30.0%）、ひとりぐらし：48人（11.3%）と続きます。
- 回答者の居住年数については、20年以上が突出しており、426人中356人で全体の8割を超えています。
- 水俣市に住む理由については、「生まれたところだから」が最多で、426人中212人で全体の約5割を占めています。

2 水俣市の住みやすさなどについて

問8 水俣市が好きですか。

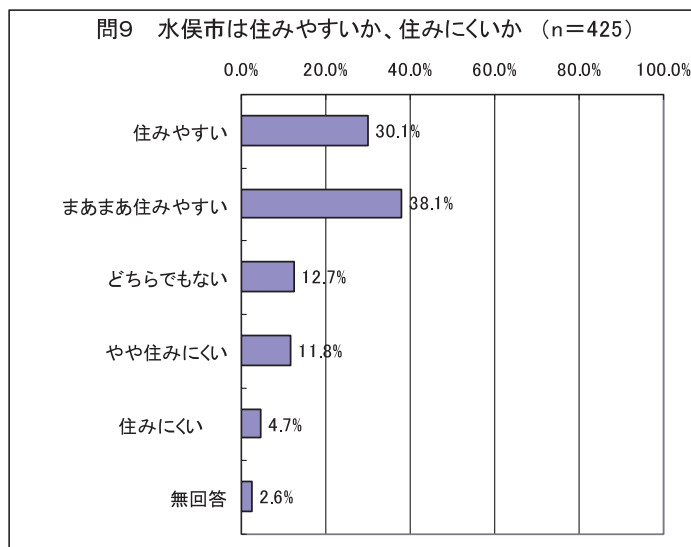
「水俣市が好きですか」という問に対し「好きです」と回答した人は274人で全体の64.3%となっています。

好きと回答した理由については、「自然の豊かさ」、「生まれ育ったところだから」、「地域への愛着」等の回答があがっています。



問9 水俣市は住みやすいですか。

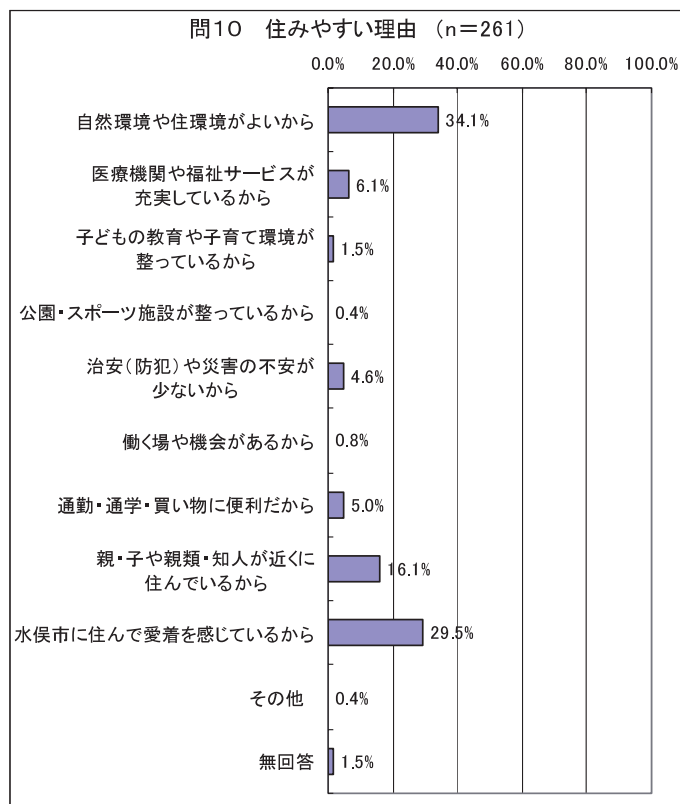
回答者の約7割、290人が「住みやすい」、「まあまあ住みやすい」と答えています。



問10 住みやすい理由はなんですか。

住みやすい理由については、「自然環境や住環境のよさ」をあげた人が最多で89人(34.1%)となっています。

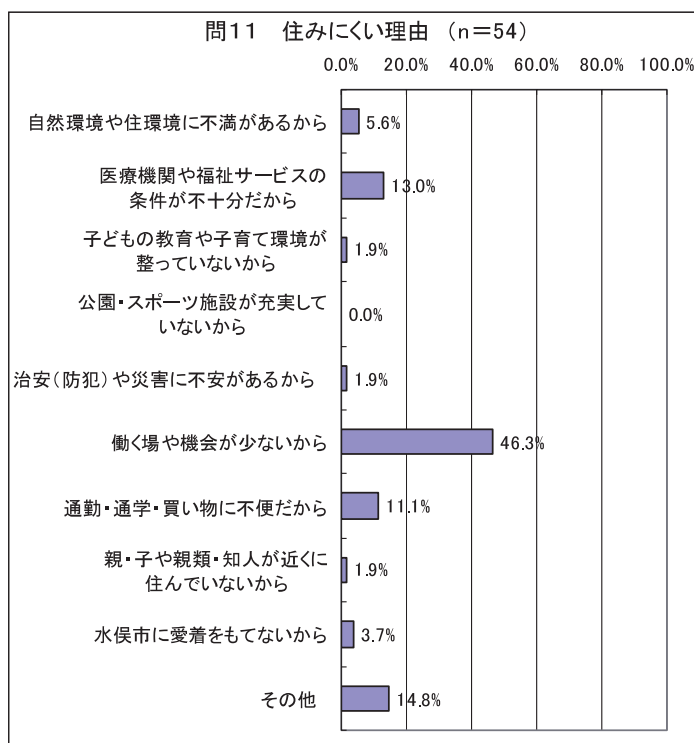
次いで、「地域への愛着」が77人(29.5%)、「親・子や親類等が近くに住んでいる」が42人(16.1%)となっています。



問11 住みにくい理由はなんですか。

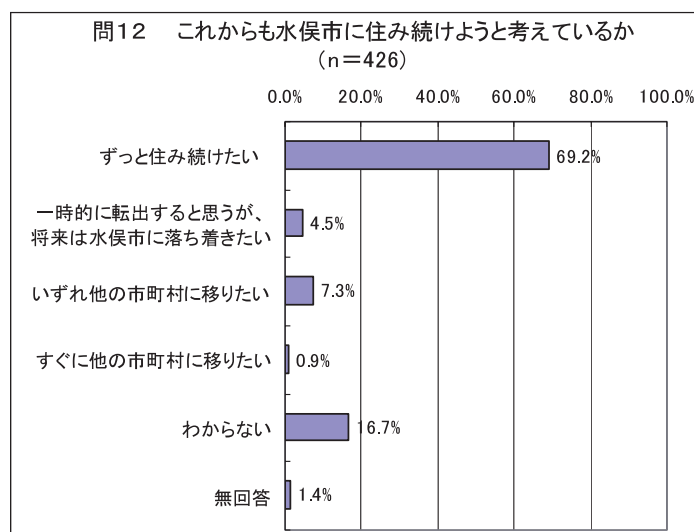
「働く場や機会が少ない」が最も多く、25人（46.3%）となっています。

このほかに、「医療機関や福祉サービスの条件が不十分」が7人（13.0%）、「通勤・通学・買い物に不便」が6人（11.1%）が出されています。



問12 これからも水俣市に、住み続けようと考えますか。

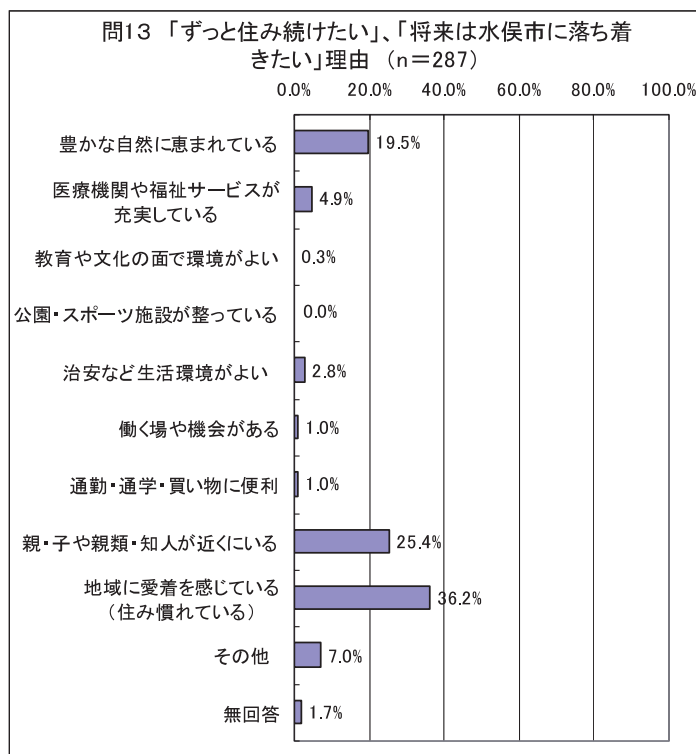
「ずっと住み続けたい」が最多（295人）で、全体の約7割を占めています。



問13 住み続けたい理由は何ですか。

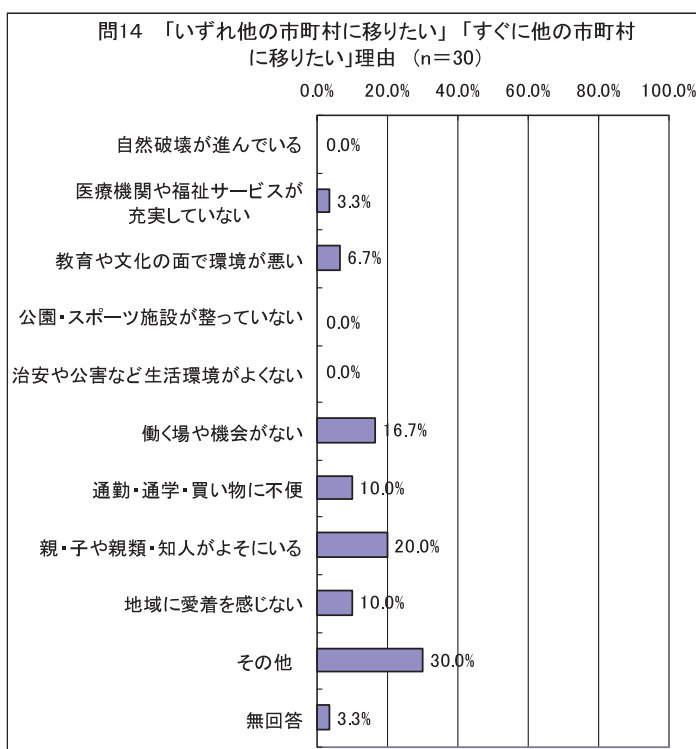
「地域に愛着を感じている」が最多で、104人（36.2%）でした。

これに「親・子や親類等が近くにいる」の73人（25.4%）、「豊かな自然に恵まれている」の56人（19.5%）が続きます。



問14 他の市町村に移りたい理由はなんですか。

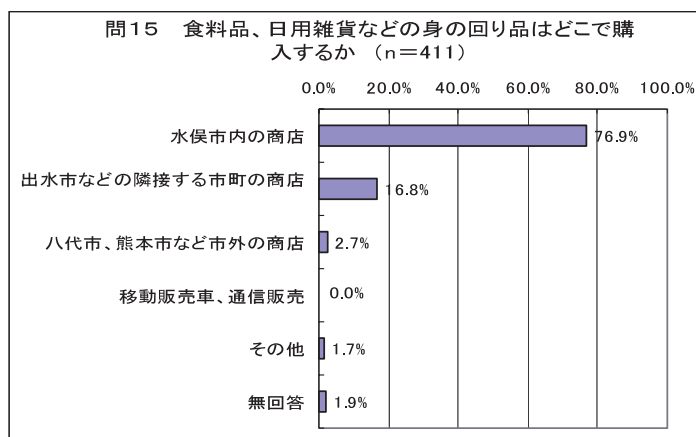
「親・子や親類等がよそにいる」が6人、次いで「働く場や機会がない」が5人、「通勤・通学・買い物に不便」・「地域に愛着を感じない」が3人となっています。



問 1 5 食料品、日用雑貨などの身の回り品は、どこで購入しますか。

「市内の商店」が316人で約8割を占めています。

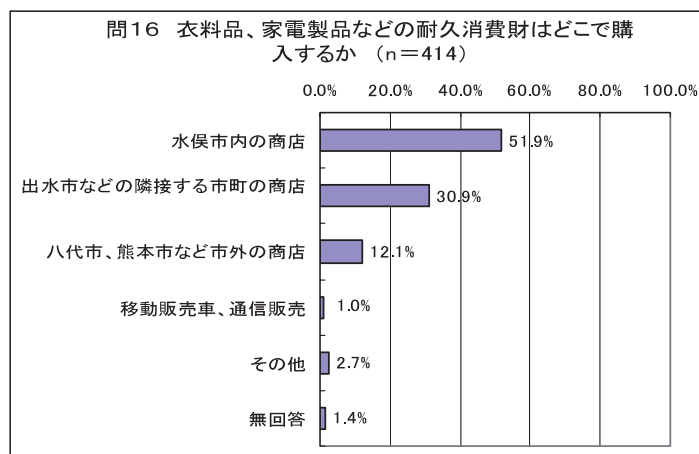
「出水市などの近隣市町の商店」が69人（16.8%）で、これに続きます。



問 1 6 衣料品、家電製品などの耐久消費財は、どこで購入しますか。

「市内の商店」が最多で215人（51.9%）となっています。

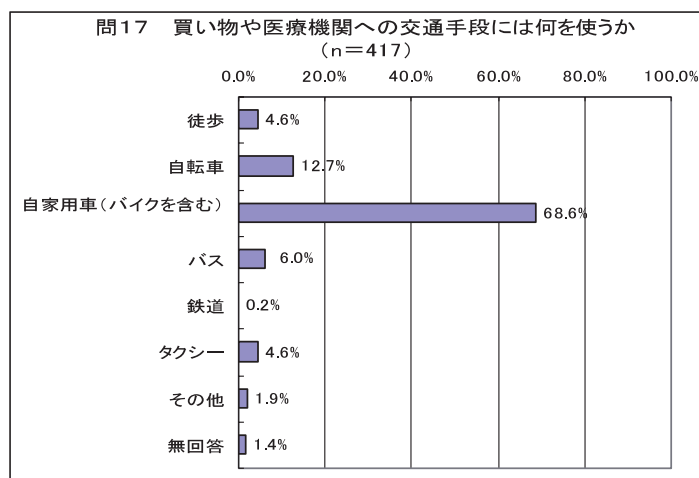
次いで、「出水市などの隣接する市町の商店」が128人（30.9%）、「八代市、熊本市などの市外の商店」が50人（12.1%）となっています。



問 1 7 買い物や医療機関への交通手段には、何を使いますか。

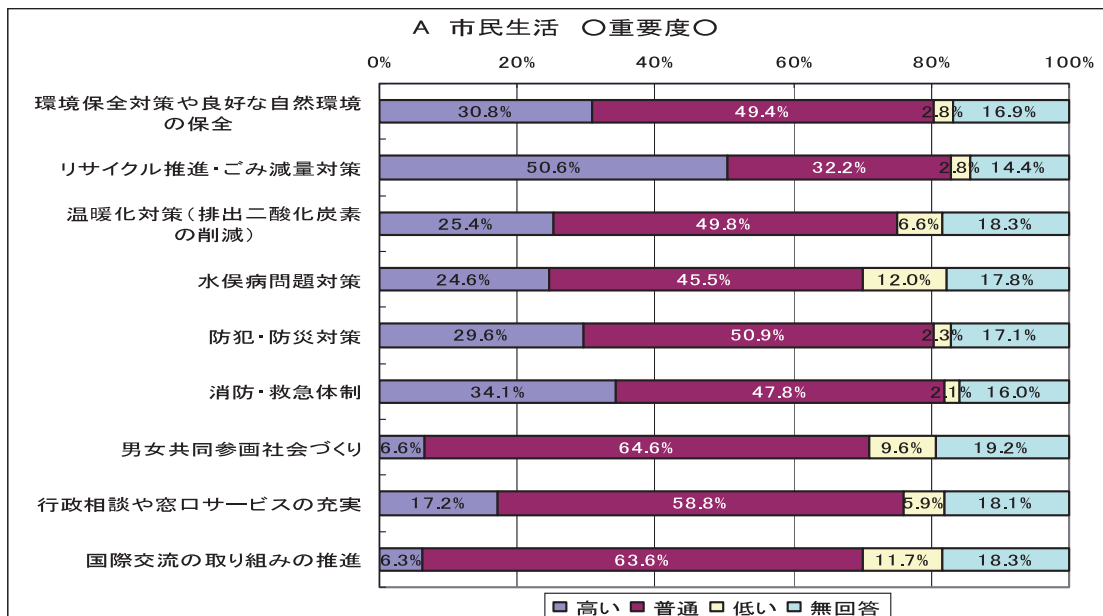
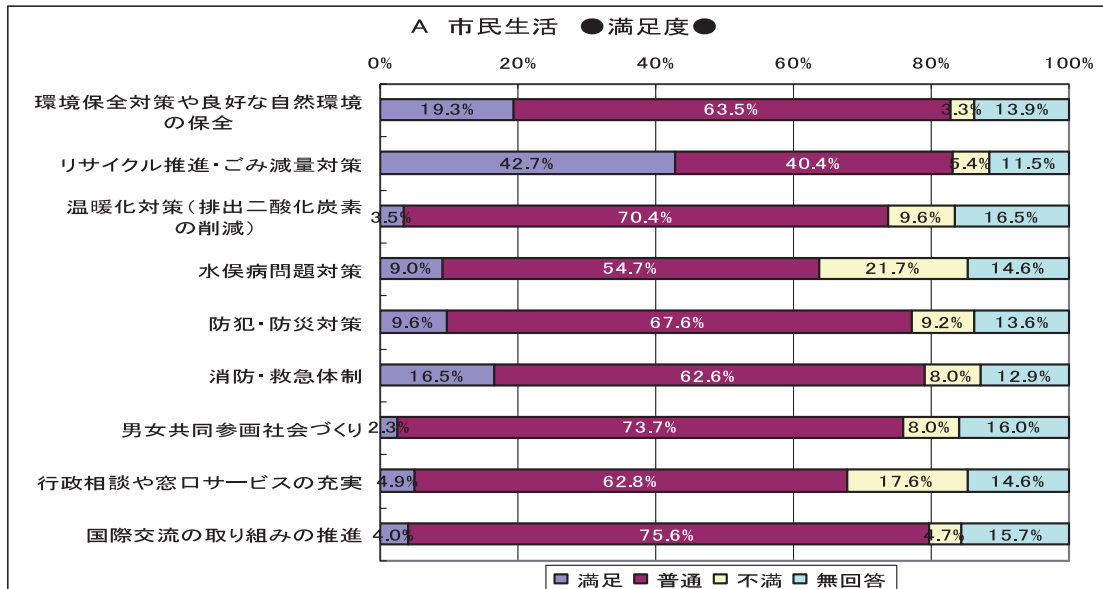
「自家用車」の使用が286人（68.6%）と突出しています。

これに「自転車」の53人（12.7%）、「バス」の25人（6.0%）が続いています。



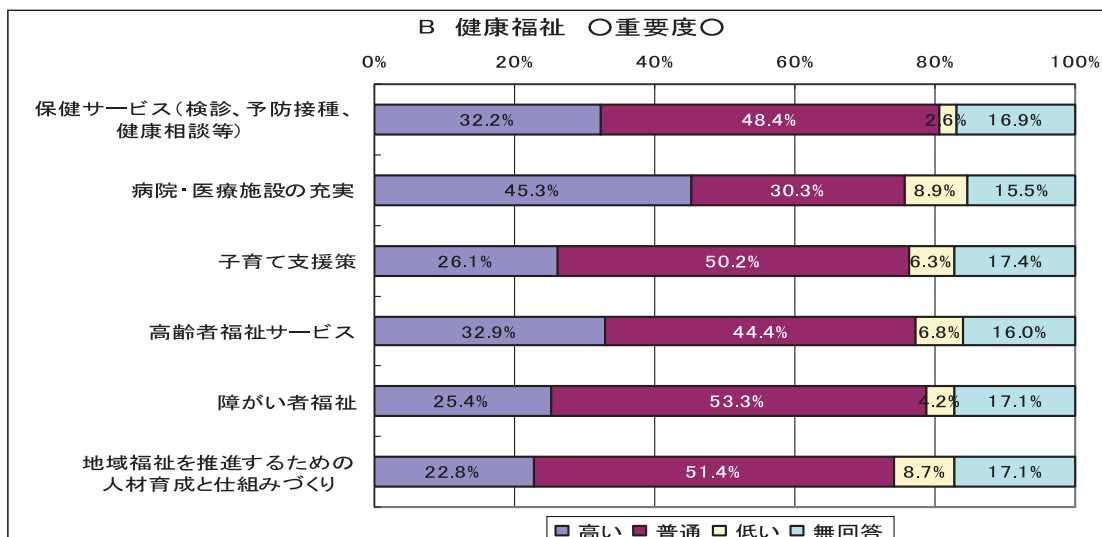
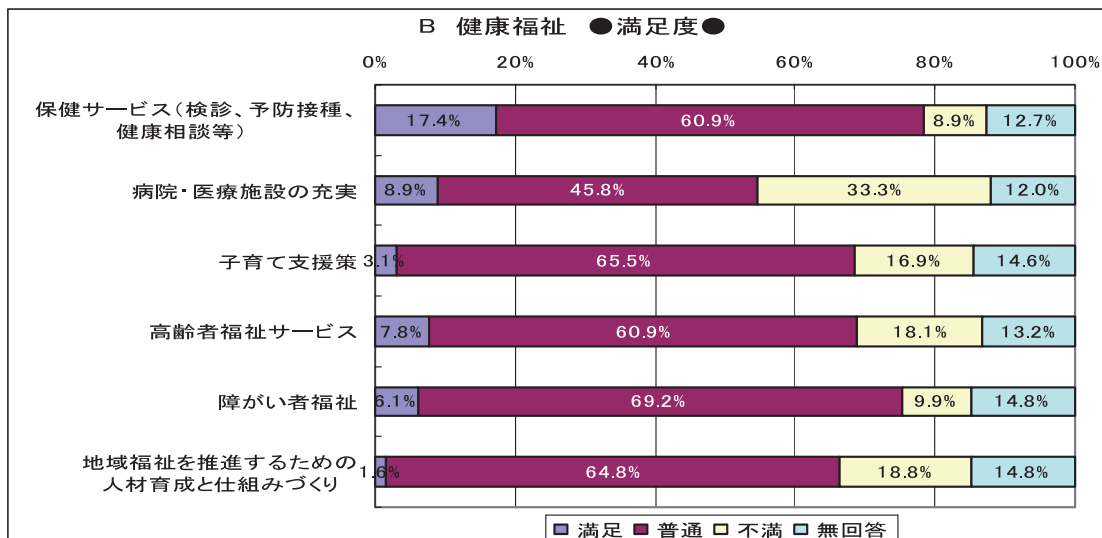
2 市が実施している施策の満足度と重要度について

問18 市が実施している各分野の取組みに関する満足度と重要度は？



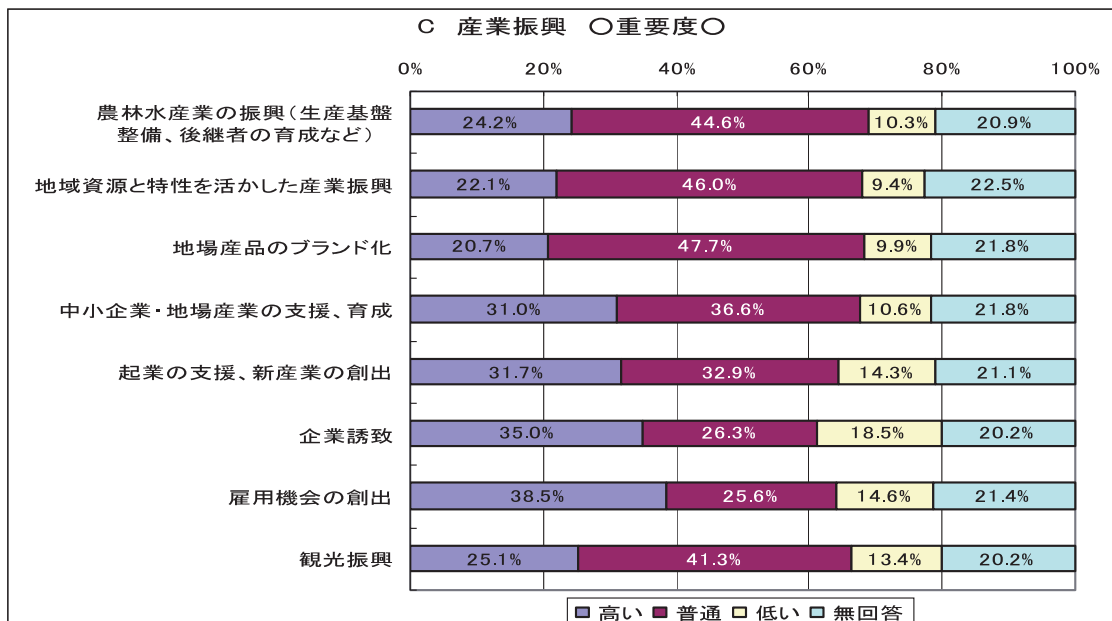
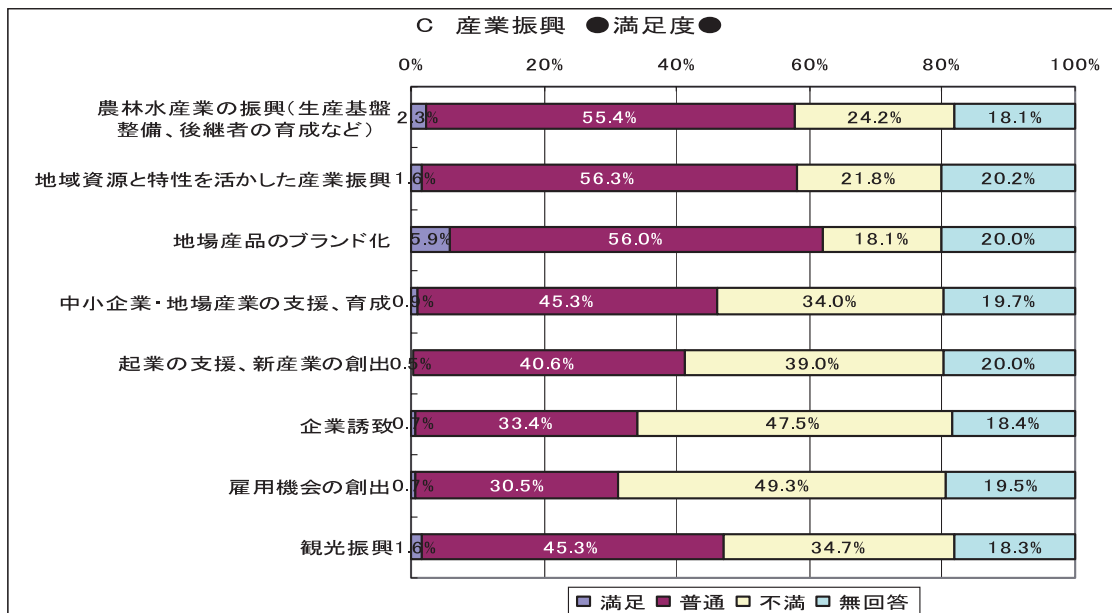
市民生活に係る満足度を見ると、「リサイクル推進・ごみ減量対策」についてが、最も満足度が高く 42.7%となっています。一方、不満の意向が多かったのは水俣病問題対策で 21.7%でした。

また、重要度を見ると、重要度の高い項目は満足度と同じく「リサイクル推進・ごみ減量対策」が最も高く、「消防・救急体制」、「環境保全体策や良好な自然環境の保全」がこれに続いています。



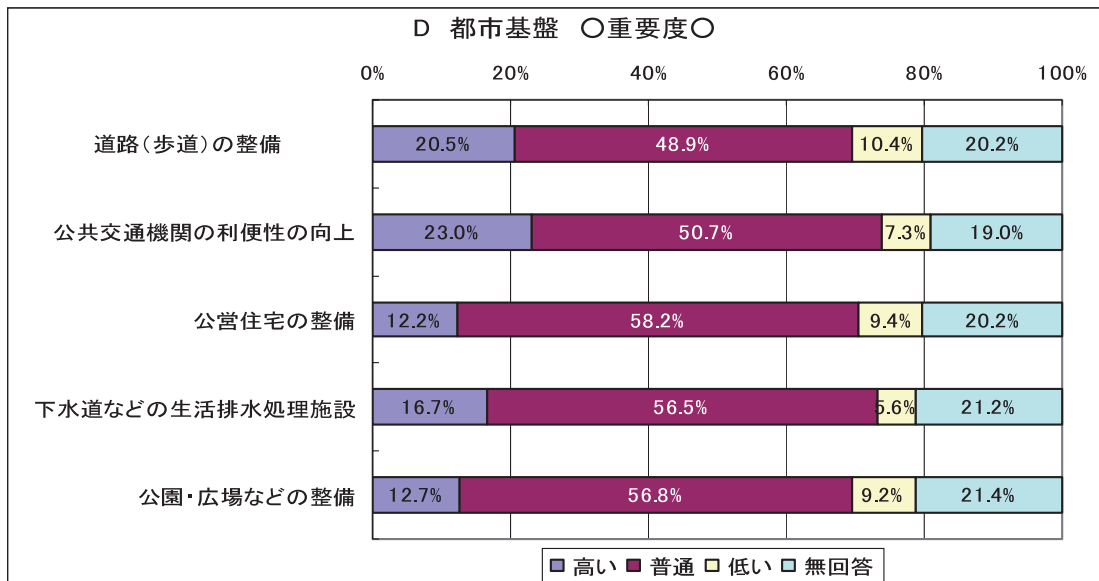
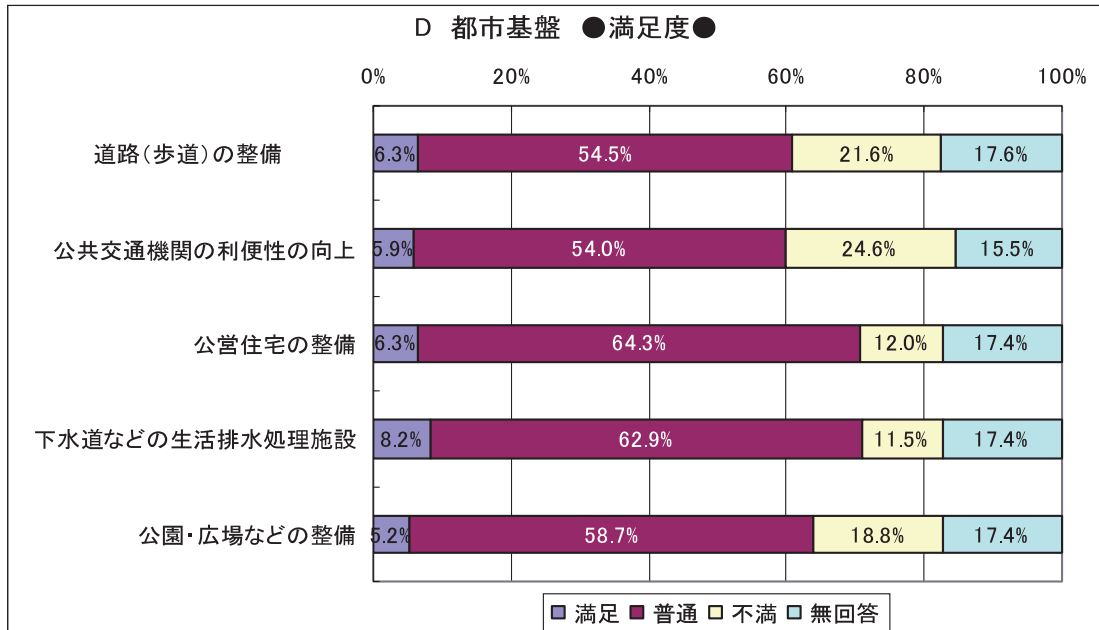
健康福祉に係る満足度については、全体的に満足度が低くなっています。中でも「病院・医療施設の充実」については、約3割が不満と感じています。

また、重要度を見ると、重要度の高い項目は「病院・医療施設の充実」や「高齢者福祉サービス」、「保健サービス（検診、予防接種、健康相談等）」となっています。



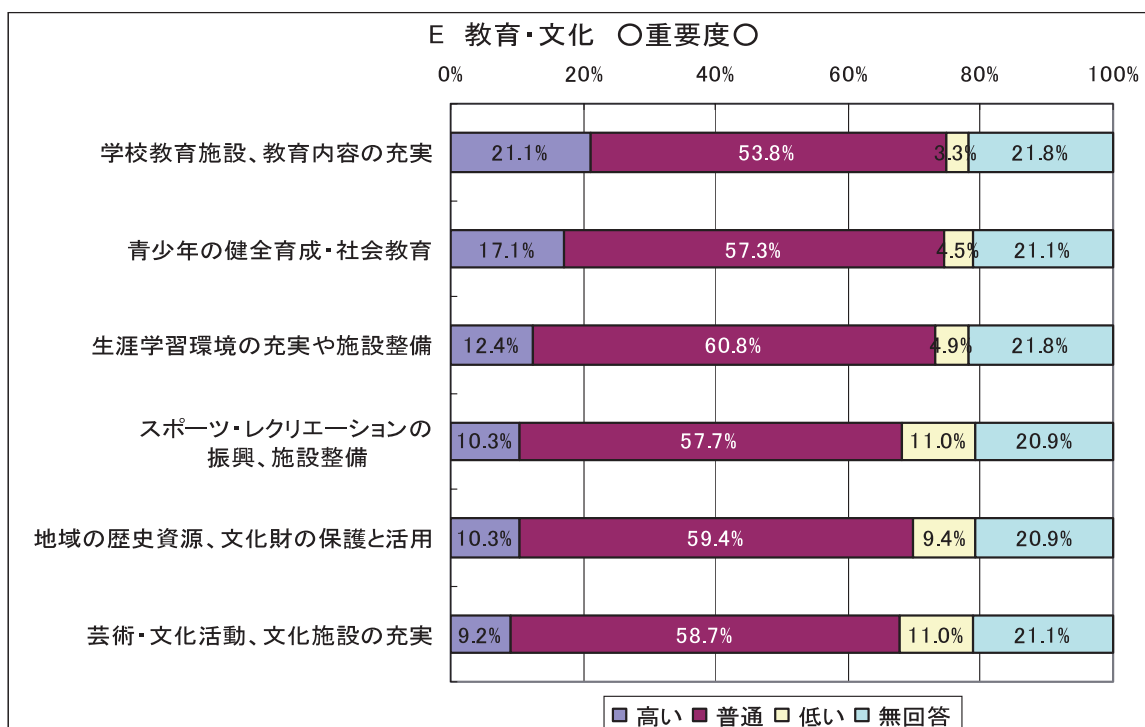
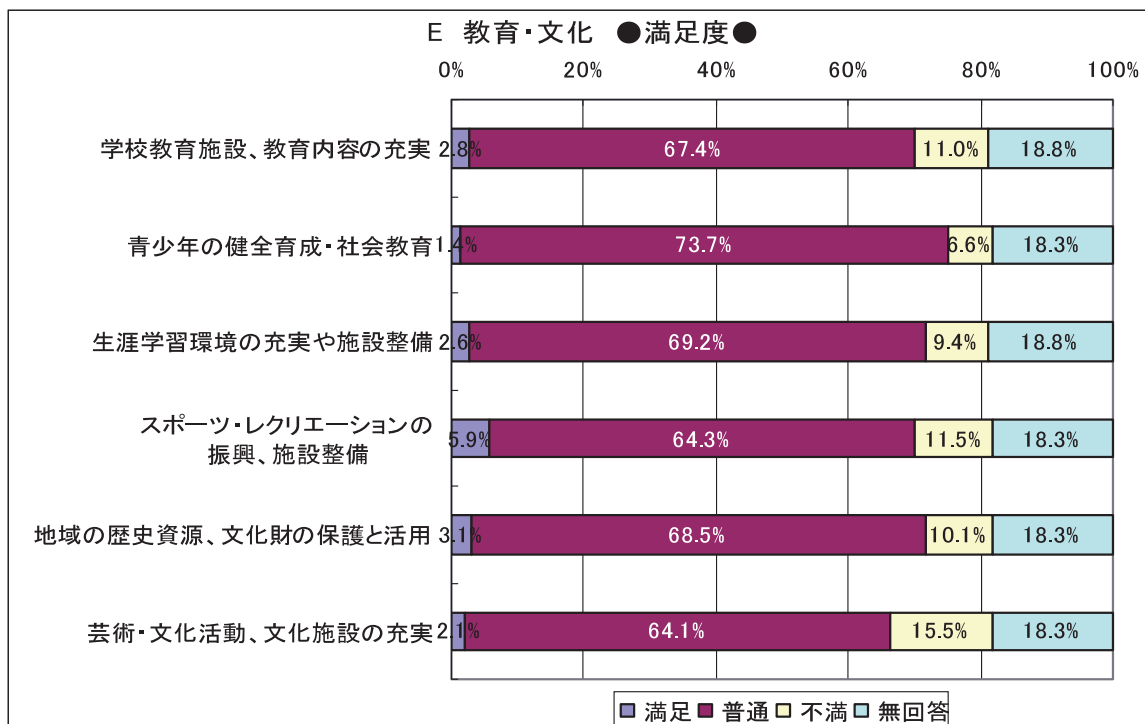
産業振興に係る満足度については全体的に満足度が低く、特に「雇用機会の創出」や「企業誘致」については半数近くが不満としています。「起業の支援・産業創出」、「観光振興」、「中小企業・地場産業の支援等」についても3割以上が不満と感じています。

重要度についても、同様の項目があがっています。



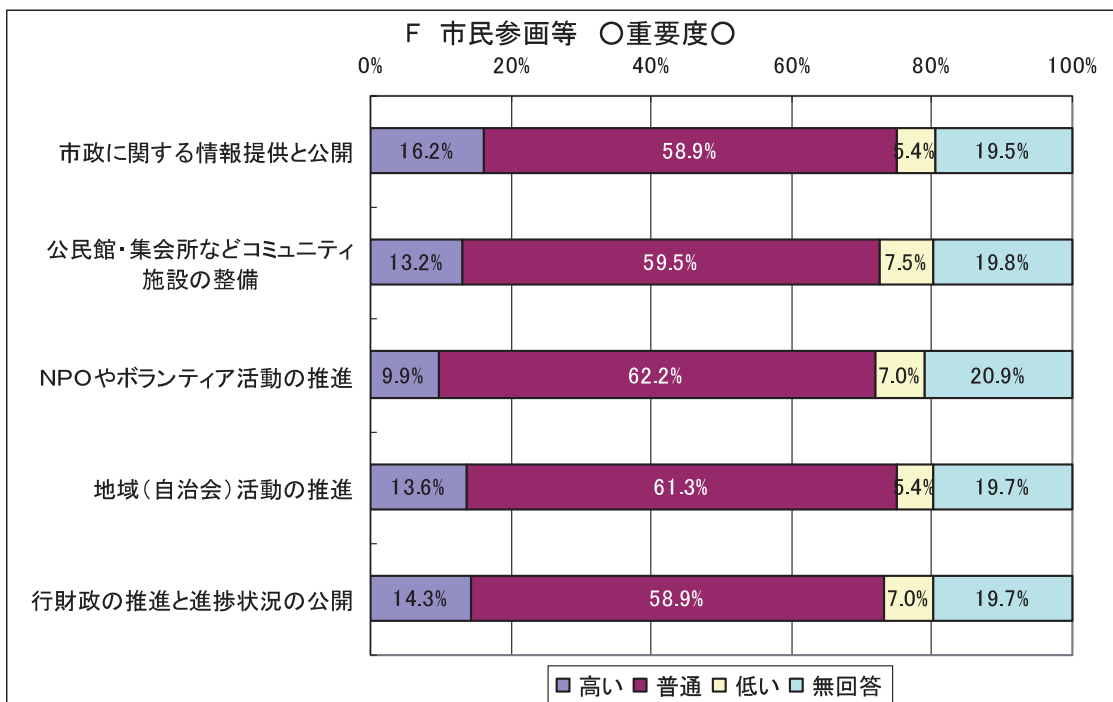
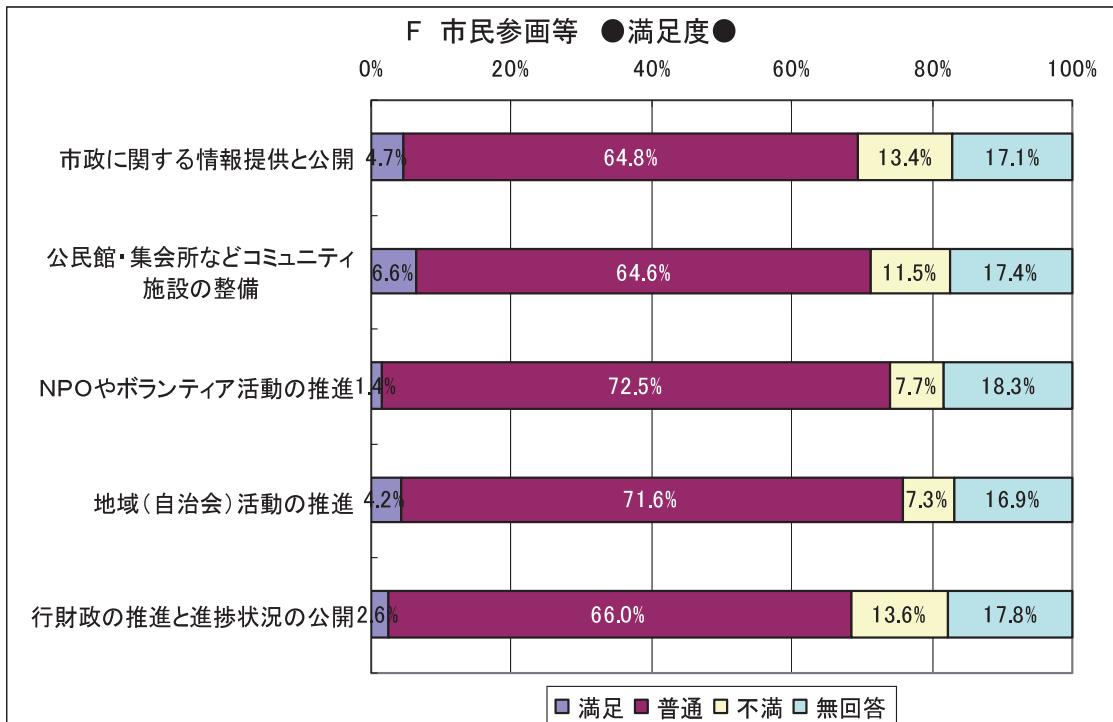
都市基盤に係る満足度については、全体的に満足度が低くなっています。中でも「公共交通機関の利便性」や「道路(歩道)の整備」について2割以上が不満の意向を示しています。

また、重要度については、重要度の高い項目として、「公共交通機関の利便性の向上」や「道路(歩道)の整備」、「下水道などの生活排水処理施設」などがあがっています。



教育・文化に係る満足度については、全体的に満足度が低くなっています。ただし、特に不満の意向が高い項目もありませんでした。

重要度については、「学校教育施設、教育内容の充実」や「青少年の健全育成・社会教育」を重要とする意向が20%前後になっています。



市民参画等に係る満足度については、全体的に満足度が低くなっています。また、「行財政の推進と進捗状況の公開」、「市政に関する情報提供と公開」といった「情報公開」に関する項目を不満とする回答がやや多くなっています。

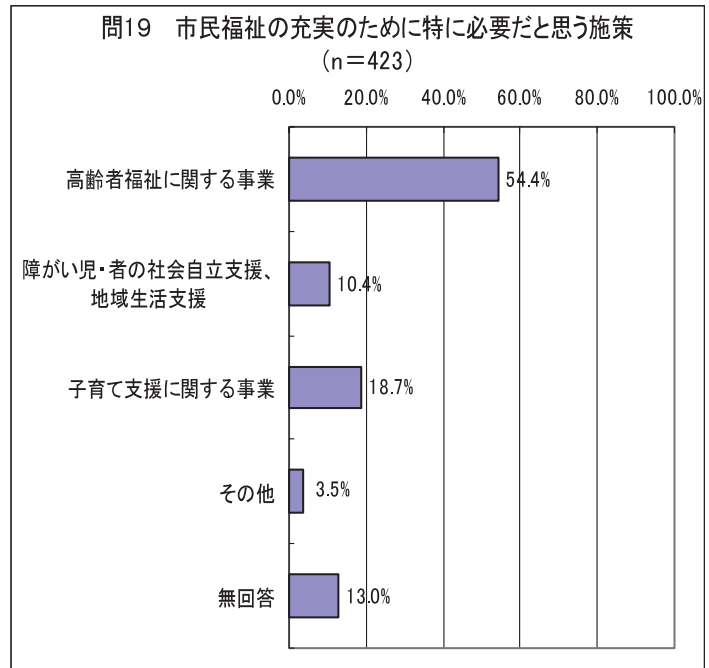
重要度についても、同様の項目が重要視されているようです。

3 水俣市の各施策について

問19 市民福祉の充実のために、必要な施策は何ですか。

「高齢者福祉に関する事業」が最も多く、230人（54.4%）でした。

「子育て支援に関する事業」が79人（18.7%）、「障がい児・者の社会自立支援等」が44人（10.4%）が続いています。



問20 環境対策を進めていくために、必要な施策は何ですか。

「新エネルギーの普及・省エネルギー対策」が最多で105人（25.0%）となっています。

これに、「ごみの減量、レジ袋・家庭ごみ収集の有料化」の79人（18.8%）、「家庭や事業所でのCO2（二酸化炭素）削減対策」の62人（14.8%）が続いています。

